

2

EU共通農業政策(CAP)及び各国における食品規制及び環境政策

1. 各国におけるCAP戦略計画まとめ

- (1) 調査方針
- (2) CAP戦略計画の予算・施策の比較

調査対象国の選定

- CAP戦略計画の調査対象国として、ドイツ・フランス・オランダ・イタリアを選定した
- ドイツ・フランスはEUにおける農業大国であり、CAP予算分配額も多い国である
- オランダは、低地が国土の大半を占めており、海拔0m以下の土地が1/4を占める。オランダの農業は、地の利を生かしたEU域内の中継点としての活発な加工貿易や、限られた農地において収量向上を目指す精密農業等に強みを有する
- 一方、地中海性気候の土地であるイタリアは、フランス、ドイツ、スペインに次いで農業大国である。国土の南北で気候が異なっており、北部では西欧式農業に近いが、南部はオリーブや硬質小麦を中心とした地中海式農業が実施されている

本事業における調査対象国

調査対象国の農業の特徴

国	農業の特徴
ドイツ 	● 主要産業は、自動車、機会、化学・製薬などの製造業であるものの、EU第3位の農業国（GDP比）の農業国でもあり、CAPの予算分配額はフランスに次ぐ第2位。西岸海洋性気候に属し、北部～中央部には温暖湿潤な地域が広がっており、小麦・ライ麦・大麦など多様な麦類やばれいしょ、てん菜（ビート）などを栽培し、それらを飼料として乳牛や豚を飼育する混合農業が活発である
フランス 	● フランス農業の特徴は、複雑な気候や地形に応じて穀物・酪農・畜産・地中海式農業などの多様な農畜産物の生産と高い品質の保証が行われている点にある。EU最大の農業大国であり、穀物・牛乳・牛肉・豚肉・鶏肉・チーズ・ブドウ・ワインなどの世界最高規模の生産量を誇り、輸出も盛んである
オランダ 	● オランダ農業の強みは、農地の大規模化・集約化と最新ICTや環境制御技術などを導入したスマート農業の実践による効率性にある。特に、施設園芸と食品加工業が国際的な競争力を有しており、関連製品の輸出拡大に影響している
イタリア 	● イタリアは冬には雨が多く夏は乾燥する地中海性気候。気候条件を活かした地中海式農業が発達しており、冬は小麦、夏にはオリーブやぶどう、柑橘類などの果樹栽培が行われている



調査のアプローチ

- 2019年12月に発足した第1期フォン・デア・ライエン政権では、欧州グリーンディール政策が優先政策の1つ目に掲げられるなど、気候変動などの環境課題に向けた施策を数多く実施されてきている
- 現行CAPもこの流れを汲むものであり、欧州委員会による各国のCAP戦略計画の評価の際にも、環境及び気候関連法令や2030年目標への貢献と整合性が評価点の一つとして掲げられている。第2の柱と呼ばれる農村振興施策においても農村振興政策予算の原則35%を環境・気候対策に配分することを要求するなど、「環境・気候変動関連の取組」への支援を強化している点で特徴的である
- 上記より、本調査においては、4つの調査対象国における農村振興施策のうち、「環境気候管理誓約」を中心に調査を実施した
- 但し、イタリアに関しては、農村振興施策において、環境気候管理誓約と同レベルに「投資」への予算配分比率が高く、これは他の調査対象国と比較しても突出して規模が大きい。地中海性気候であるイタリアにおいては、気候変動の影響による干ばつ被害を受けやすく、灌漑施設等のインフラ設備が重要である。このため、イタリアについては例外的に「投資」の調査とした
- 施策をより詳細に分析するため、以下のとおり、各国1地域を選定の上、調査を実施した

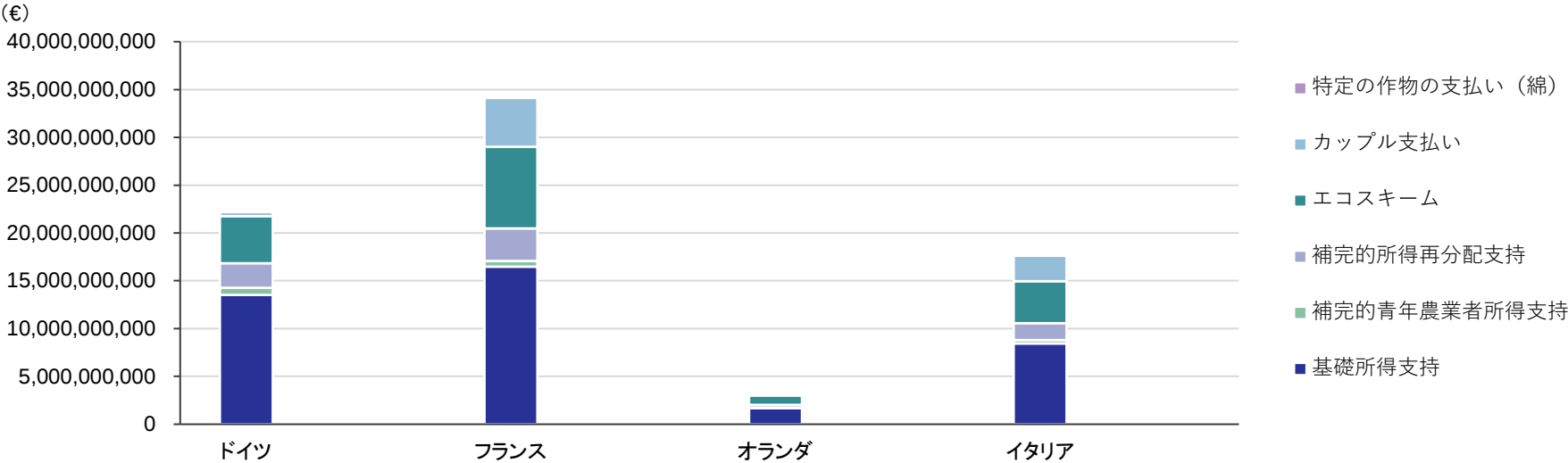
農村振興施策の調査にあたって選定した州・施策

調査項目	ドイツ	フランス	オランダ	イタリア
対象州の選定	ノルトラインヴェスト ファーレン州 	ノルマンディー県 	ユトレヒト州 	プーリア州 
農村振興施策（第2の柱）のうち、調査対象とした施策	環境気候管理誓約	環境気候管理誓約	環境気候管理誓約	投資

第1の柱・第2の柱の各施策への予算配分

第1の柱の予算配分（直接支払い）

- 2023～2029年の各国における直接支払いの予算配分総額を比較すると、フランスが最も多く341億€。次いでドイツ、イタリア、オランダの順である。



2023～2029年における直接支払い予算総額の内訳（単位：€）

施策名	ドイツ		フランス		オランダ		イタリア	
基礎所得支持	13,517,916,727	61%	16,470,722,017	48%	1,692,610,123	57%	8,451,602,213	48%
補完的青年農業者所得支持	737,354,320	3%	590,858,325	2%	23,007,600	1%	352,150,091	2%
補完的所得再分配支持	2,574,841,281	12%	3,412,316,069	10%	298,059,068	10%	1,760,750,461	10%
エコスキーム	4,935,112,456	22%	8,530,790,171	25%	963,897,707	32%	4,401,876,153	25%
カップル支払い	429,140,210	2%	5,118,474,103	15%	0	0%	2,641,125,689	15%
特定の作物のへ支払い（綿）	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	22,194,364,994	100%	34,123,160,685	100%	2,977,574,499	100%	17,607,504,607	100%

第1の柱・第2の柱の各施策への予算配分

第1の柱の予算配分（セクター支払い）

- 2023～2029年の各国におけるセクター支払いの予算配分総額を比較すると、イタリアが最も多く約16億€を割り当てている
- オランダは養蜂のみに対してセクター支払いを実施しているが、ドイツ・フランス・イタリアは、養蜂に加え、ワインに対しても支援を実施している
- セクター支払いの支援額は、イタリアが最も高く16億€程度を割り当てており、これはフランスの約1.6倍規模の予算である

2023～2029年におけるセクター支払い予算額（養蜂）の内訳（単位：€）

施策名 ※（）記載はEUが設定する施策コード		ドイツ		フランス		オランダ		イタリア	
セクター支払い（養蜂）	（ACTLAB）養蜂生産物分析のためのラボ支援活動（蜂の損失または生産性の低下、およびハチに有毒な可能性のある物質）	1,745,623	2%	400,000	0%	0	0%	0	0%
	（ACTQUAL）製品の品質向上のための活動	0	0%	536,240	0%	0	0%	0	0%
	（ADVIBEEES）助言サービス、技術支援研修、情報提供、ベストプラクティスの交換	5,694,547	6%	28,436,256	3%	1,350,860	50%	20,107,350	1%
	（COOPAPI）養蜂・養蜂製品分野における研究プログラム実施のための専門機関との協力	6,451,321	7%	3,000,000	0%	1,350,860	50%	8,378,062	1%
	（INVAPI）有形・無形の資産への投資およびその他の活動	5,913,659	6%	17,740,000	2%	0	0%	46,917,141	3%
	（PRESBEEHIVES）ミツバチの繁殖を含む、組合内の既存の養蜂箱数の維持・増加のための活動	1,910,750	2%	0	0%	0	0%	0	0%
	（PROMOBEES）特に養蜂製品の品質に関する消費者の意識を高めることを目的とした市場監視活動や活動を含む、プロモーション、コミュニケーション、マーケティング	0	0%	240,000	0%	0	0%	8,378,046	1%
セクター支払い（養蜂）小計		21,715,899	23%	50,352,496	5%	2,701,720	100%	83,780,599	6%

第1の柱・第2の柱の各施策への予算配分

第1の柱の予算配分（セクター支払い）

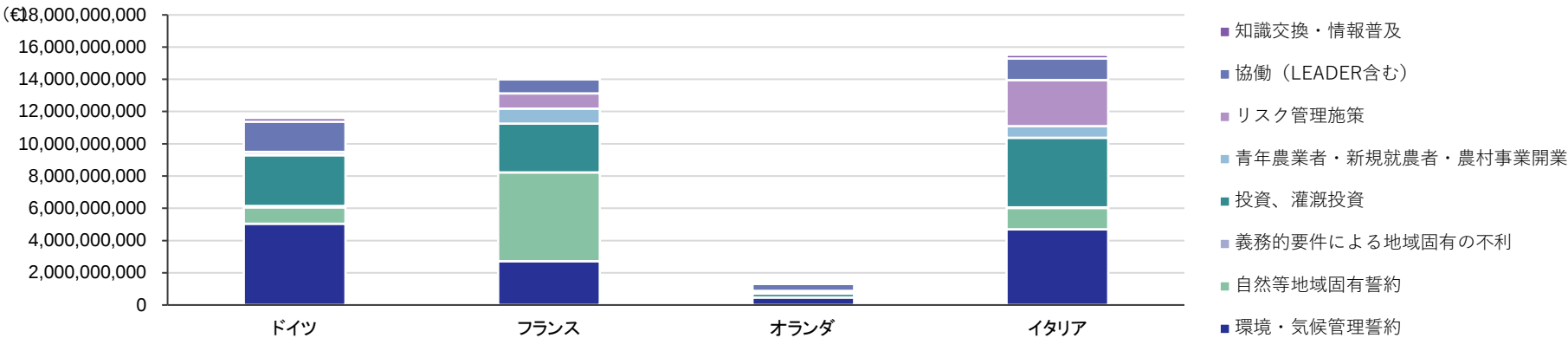
セクター支払い（ワイン）の内訳（単位：€）

施策名 ※（）記載はEUが設定する施策コード		ドイツ		フランス		オランダ		イタリア	
セクター支払い（ワイン）	（ACTREPUT）生産地におけるワインツーリズムを促進することにより、EUのブドウ園の評判を高めることを目的とした、支部間組織によって実施される活動	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
	（DISTIL）ワイン醸造の副産物の蒸留	0	0%	153,772,000	16%	0	0%	100,000,000	6%
	（GREENWINE）通常の生産サイクルの終了時にブドウの房を未熟なうちに完全に破壊または除去することで、該当地域の収量をゼロにする	0	0%	0	0%	0	0%	25,000,000	2%
	（HARINWINE）自然災害、天候不順、家畜の食害、植物病害または害虫の蔓延に類似した天候不順による所得損失に対する収穫保険	12,150,000	13%	0	0%	0	0%	0	0%
	（INFOR）責任あるワインの消費を奨励し、または原産地呼称や地理的表示を含むユニオン品質スキームを促進するために、実施されるユニオンワインに関する情報活動。	4,000,000	4%	10,500,000	1%	0	0%	0	0%
	（INWINE）イノベーションへの有形・無形投資：ワイン製造の副産物を含む革新的な製品の開発、ワイン製品製造のための革新的なプロセスや技術、それらのプロセスや技術のデジタル化、および知識交換や気候変動への適応への貢献を含む、サプライチェーンのあらゆる段階における付加価値を高めるその他の投資	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
	（INOVWINE）ワイン生産農業システムにおける有形・無形の資産への投資。	24,124,167	25%	273,149,000	29%	0	0%	388,000,000	24%
	（INWINESUST）ワイン生産の持続可能性を高めるための有形・無形の資産への投資。	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
	（PROMOWINE）第三国でのプロモーション	4,000,000	4%	95,000,000	10%	0	0%	380,000,000	24%
	（RESTRVINEY）ブドウ畑の再編成と転換	30,054,167	31%	371,476,000	39%	0	0%	625,915,000	39%
セクター支払い（ワイン）小計		74,328,335	—	903,897,000	—	0	—	1,518,915,000	—
セクター支払い合計		96,044,234	100%	954,249,496	100%	2,701,720	100%	1,602,695,599	

第1の柱・第2の柱の各施策への予算配分

第2の柱の予算配分（農村振興施策）

- 各国の農村振興施策に対する予算配分を比較すると、予算総額はイタリアが約155億1117万€と最多である
- フランスは義務的要件による地域固有の不利、オランダは加えて自然等地域固有制約についても施策を設定していない



2023～2029年における農村振興施策への予算額の内訳（単位：€）

施策名	ドイツ		フランス		オランダ		イタリア	
環境・気候管理誓約	5,039,918,911	43%	2,716,153,330	19%	460,400,000	34%	4,697,818,933	30%
自然等地域固有制約	1,008,761,862	9%	5,500,000,000	39%	0	0%	1,317,456,565	8%
義務的要件による地域固有の不利	94,873,860	1%	0	0%	0	0%	35,413,350	0%
投資、灌漑投資	3,138,068,594	27%	3,028,749,008	21%	253,935,000	19%	4,314,200,427	28%
青年農業者・新規就農者・農村事業開業	34,913,001	0%	926,164,491	7%	74,650,000	5%	730,118,879	5%
リスク管理施策	178,055,570	2%	948,992,247	7%	87,500,000	6%	2,850,881,192	18%
協働（LEADER含む）	1,880,012,885	16%	887,352,295	6%	437,773,905	32%	1,337,520,437	9%
知識交換・情報普及	220,299,731	2%	138,487,748	1%	57,746,250	4%	227,769,477	1%
合計	11,594,904,415	100%	14,145,899,119	100%	1,372,005,155	100%	15,511,179,260	100%

CAPが掲げる3つの一般目標・10の個別目標

- 2023年から履行されているCAPにおいては、農業、食料、農村地域の持続可能な開発をさらに改善することを目指し、経済、環境、社会で設定されている3つの一般目標に貢献する必要がある（規則(EU) 2021/2115の第5条、第6条）
- 3つの一般目標である「セクターのレジリエンス強化」「環境への配慮・気候への行動の強化」「農村エリアにおける生活の向上」に対してそれぞれ3つの個別目標が設定されている。これら9つの個別目標に、横断的な個別目標である「知識・イノベーション」が加わって、計10の個別目標が設定されている

2023年CAPにおける3つの一般目標と10の個別目標の関係性



CAPが掲げる10の個別目標

- CAP個別目標は各国のCAP戦略計画が目指すべき目標である。CAP戦略計画の立案にあたり、各国が自国の現状についてSWOT分析を行い、共通の評価指標であるContext Indicator等を用いて、CAP個別目標の達成に向けた定量的目標とマイルストーンを設定する

個別目標			
個別目標と主目的		背景	各国CAP戦略計画で求められる説明
S01	公正な所得 (Fair Income) : Supporting viable farm income • 長期的な食料安全保障と農業の多様性を強化し、EUにおける農業生産の経済的持続可能性を確保するために、EU全体の農業部門の実行可能な農業所得と回復力を支援すること。	• 2017年時点では、農業者の所得は他産業平均の半分弱。2007年時点では他産業平均の三分の1程度	• 農業所得の現状、CAPの役割、加盟国間やセクター間の差異、目的達成に向けた対策の組み合わせ
S02	競争力 (Competitiveness) : Increasing competitiveness • 研究、技術、デジタル化への一層の重点化を含め、短期的にも長期的にも市場志向を強化し、農業の競争力を高めること。	• 人口動態と可処分所得の変化による食料と産業利用需要の増加により、農業資源基盤への圧力が上昇	• 研究とイノベーションプログラム、新技術、農村開発とインフラ、効率的なアドバイザリーシステム、農場管理者向けの継続的なトレーニングなど、の政策ツール
S03	フードバリューチェーン (Food Value Chain) : Improving farmers' position in the value chain • バリューチェーンにおける農業者の地位を向上させること。	• 農業は、投入コストが高く、生産性と新規性が不安定であるため、付加価値が低い	• 農業者間の協力の強化、市場の透明性の向上、不公正な取引慣行に対する効果的なメカニズムの確保等の措置による農業者の地位向上施策
S04	気候変動 (Climate Change) : Contributing to climate change mitigation • 温室効果ガスの排出削減や炭素隔離の強化などによる気候変動の緩和と気候変動への適応に貢献し、持続可能なエネルギー利用を促進すること。	• 農業は、GHG排出に関する野心的な目標により、パリ協定・EU戦略（持続可能性とバイオエコノミー）への貢献に対する主要な役割を担う	• 農場および土壌管理技術によりGHG排出削減において農業が貢献する役割を検討 • 気候変動が農業にもたらすリスクも分析
S05	環境配慮 (Environmental Care) : Efficient natural resource management • 水、土壌、大気などの天然資源の持続可能な開発と効率的な管理を促進すること(化学物質への依存を減らすことを含む)。	• EUの農地は510億トン相当のCO2を貯留し年間GHG排出量を大幅に上回る	• 土壌が、必須栄養素、水、酸素を通じて作物を支えていることに着目し、土壌健康及び土壌保護を促進する政策を説明
S06	景観 (Landscapes) : Halting and reversing biodiversity loss • 生物多様性の損失を食い止め、回復させ、生態系サービスを強化し、生息地と景観を保護することに貢献すること。	• 農業活動は生物多様性に依存するとともに、農地に依存する種や生息地の保全にも重要な役割を果たしている	• EU内の生物多様性について取り上げ、特に農業景観との関連性に焦点を当てている。現在利用可能な関連するCAPツール、CAPが将来どのように発展すべきかについて説明
S07	世代交代 (Generational Renewal) : Generational renewal • 若い農業従事者と新規農業従事者を惹きつけ、維持し、農村地域における持続可能な事業開発を促進すること。	• 農業部門は、高品質な食料品の供給源、環境面での公共財として社会から期待されており、こうした要望に応えるためにも、革新的で熟練した若い農業者が必要である	• 若手農業者の課題とニーズを特定し、ニーズ評価とより定量化可能な期待結果に基づいてよりの絞った支援システムにより、世代交代を促進し、農業セクターにおける若手農業者の成功促進施策を説明
S08	農村地域 (Rural Areas) : Responding to societal demands on food & health • 農業への女性の参加、社会的包摂、循環型バイオエコノミーや持続可能な林業を含む農村地域の地域開発などにより、雇用、成長、ジェンダー平等を促進すること。	• CAPIは、農村部の失業と貧困を一定程度緩和する上で主要な役割を果たしている。世界銀行による最近の研究では、貧困削減において農村振興政策が果たす役割が示されている	• 農村経済におけるCAPの役割を探り、所得支持と農村振興が雇用率と生活水準の維持にどのように役立つかを説明
S09	食料と健康 (Food & Health) : Supporting viable farm income • 持続可能な方法で生産された高品質で安全で栄養価の高い食品を含む、食料と健康に対する社会的要求に対して、食品廃棄物を削減、動物福祉の改善し、薬剤耐性菌への対応を行うこと。	• 欧州25カ国における抗生物質の売上高は、2011年から2018年の間に35%以上減少	• 畜産における薬剤耐性(AMR)がもたらす課題、動物福祉・健康、食品媒介性疾患との関連性、及びAMRとの闘いに対する支援施策を説明
XCO	知識とイノベーション (Knowledge & Innovation) : Fostering knowledge & innovation • 農業及び農村地域におけるイノベーション及びデジタル化を促進し、知識を共有し、研究、イノベーション、知識交換及び訓練へのアクセスの改善を通じて、農業者による知識の普及を奨励することにより、農業及び農村地域の近代化を進める	• スマートで持続可能な農業、林業、農村地域を確保するために知識交換、トレーニング、アドバイス、イノベーションへの支援が必須である	• 協力と知識共有の強化、および農業トレーニングの改善による農業の近代化に関する説明

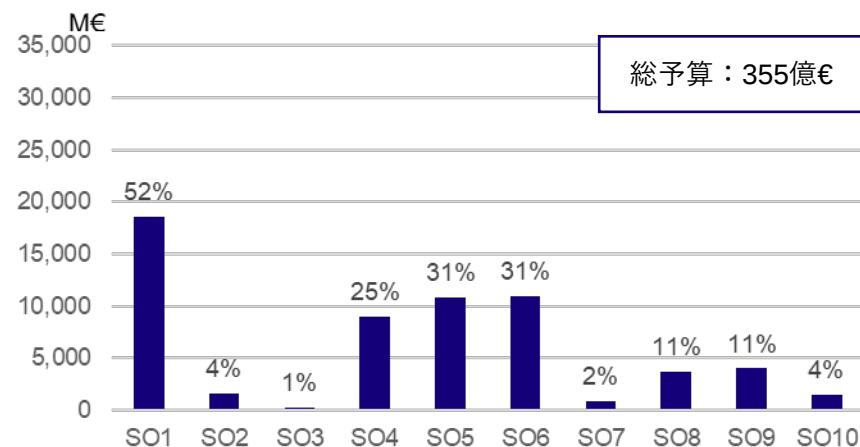
(注) 本来は「地域の現状」であるものの、ベルギー以外の加盟国は国ごとに作成しており、過年度調査においても「各国」と呼称しているため本調査においても踏襲する。

(出所) 欧州委員会ウェブサイト「the 10 CAP objectives」より作成。和訳は受託者にて実施。

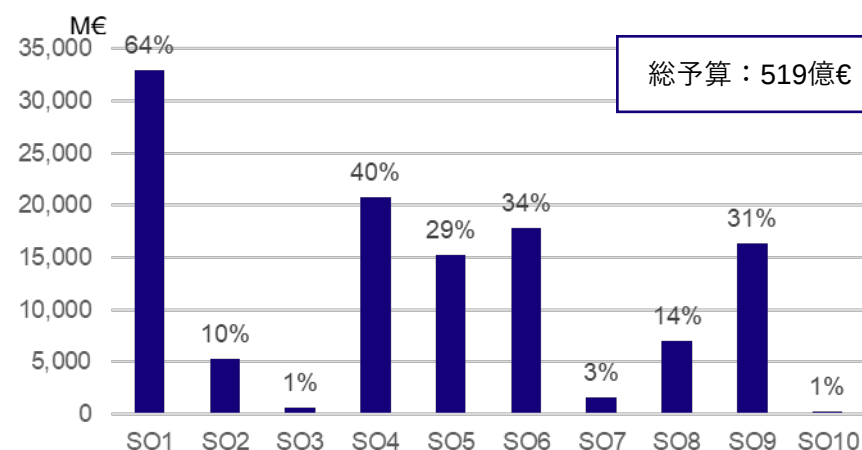
CAPが貢献する目標の比較（個別目標別予算比率）

- CAP個別目標別の各国予算配分（百万€）及び総予算に占める割合（％）によると、農業部門の所得安定化（SO1）に多くの予算が配分されている点は各国共通であるものの、イタリアは環境関連の施策(SO4,5,6)への割当が他国よりも少なく、農業の競争力強化（SO2）に重きを置いている

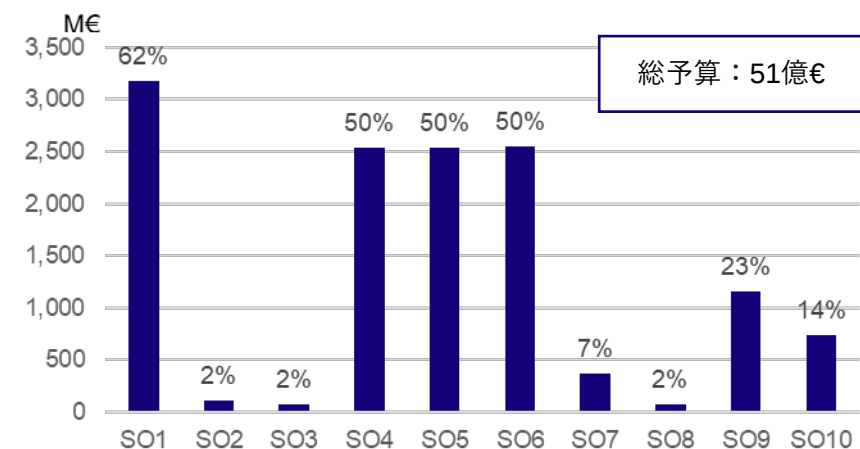
ドイツ



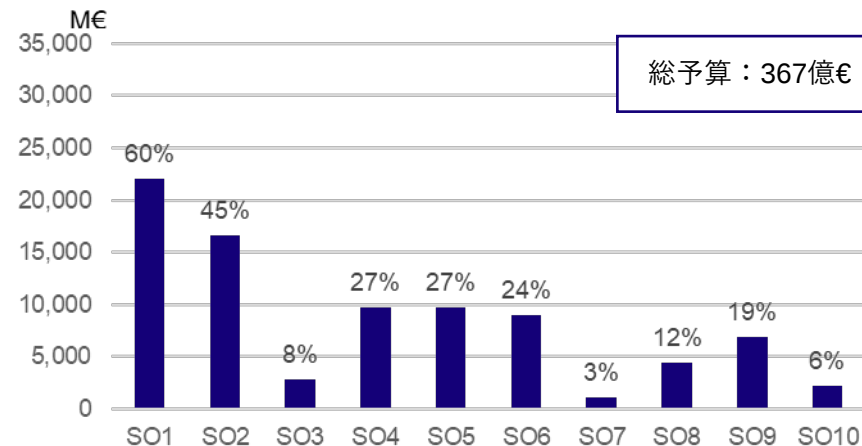
フランス



オランダ *他3ヵ国と桁が異なる点に留意



イタリア



- ドイツでは、直接支払、農村振興、養蜂・ワインへのセクター支払いに加え、果実・野菜部門及びホップ部門にもセクター支払が設定されている

ドイツにおけるCAP施策			個別目標（SO）									
区分	CAP施策名	国内施策番号 ※加盟国ごとに異なる	1	2	3	4	5	6	7	8	9	X
			公正な所得	競争	フードバリューチェーン	気候変動	環境配慮	景観	世代交代	農村地域	食料と健康	知識とイノベーション
直接支払	基礎所得支持	DZ-0101	●									
	補完的所得再分配支持	DZ-0201	●									
	補完的青年農業者所得支持	DZ-0301	●						●			
	エコスキーム	DZ-0401～DZ-0407				●	●	●				
	カップル所得支持	DZ-0501～DZ-0502	●					●				
セクター支払	特定のセクターにおける介入の種類（フルーツ及び野菜）	SP-0101～SP-0106	●	●	●	●	●	●				●
	養蜂部門への介入の種類	SP-0202～SP-0206						●				
	ワイン部門への介入の種類	SP-0301～SP-0305	●	●		●					●	
	特定のセクターにおける介入の種類（ホップ）	SP-0401～SP-0405		●	●	●	●					●
農村振興	環境・気候等管理誓約	EL-0101～EL-0111				●	●	●			●	
	自然等地域固有制約	EL-0201	●					●				
	義務的要件による地域固有の不利	EL-0301	●					●				
	投資、灌漑投資	EL-0401～EL-0413		●	●	●	●	●	●	●	●	●
	青年農業者・新規就農者・農村事業開業	EL-0501							●			
	リスク管理施策	EL-0601	●									
	協働	EL-0701～EL-0703			●					●		●
	知識交換・情報普及	EL-0801～EL-0802										●

 フランスにおけるCAP戦略計画の個別目標

- フランスでは、直接支払、農村振興、養蜂・ワインへのセクター支払いに加え、セクター支払いの対象が広範に設定されている

フランスにおけるCAP施策			個別目標（SO）									
区分	CAP施策名	国内施策番号 ※加盟国ごとに異なる	1 公正な所得	2 競争	3 フードバリューチェーン	4 気候変動	5 環境配慮	6 景観	7 世代交代	8 農村地域	9 食料と健康	X 知識とイノベーション
直接支払	基礎所得支持	21.01～21.02	●									
	補完的所得再分配支持	29.01	●									
	補完的青年農業者所得支持	30.01	●						●			
	エコスキーム	31.01				●	●	●			●	
	カップル所得支持	32.01～32.22	●	●		●	●				●	
セクター支払	養蜂部門への介入の種類	55.01～55.06		●	●			●			●	
	ワイン部門への介入の種類	58.01～58.05		●		●	●					
	特定のセクターにおける介入の種類（フルーツ及び野菜）	50.01a～50.01j	●	●	●	●	●					
	特定のセクターにおける介入の種類（オリーブ及びテーブルオリーブ）	64.01a～64.01f			●	●						
	特定のセクターにおける介入の種類（コメ）	67.01a,b,f		●	●							
	特定のセクターにおける介入の種類（樹木等）	67.02a,b,c,f,g,h		●	●							
	特定のセクターにおける介入の種類（牛肉・子牛肉）	67.03a,g		●	●							
	特定のセクターにおける介入の種類（乾燥飼料）	67.04a,b,f,h		●	●							
	特定のセクターにおける介入の種類（その他）	67.05a,b,f, 67.06a,b,f,g		●	●							
農村振興	環境・気候等管理誓約	70.01～70.32				●	●	●			●	
	自然等地域固有制約	71.01～71.15	●			●		●		●		
	義務的要件による地域固有の不利		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	投資、灌漑投資	73.01～73.17（73.14,15はなし）		●	●	●	●	●	●	●	●	
	青年農業者・新規就農者・農村事業開業	75.01～75.05							●			
	リスク管理施策	76.01～76.03	●								●	
	協働	77.01～77.07		●	●	●	●	●	●	●		●
	知識交換・情報普及	78.01				●	●	●				●

（出所）CAP Catalogueより作成



- オランダでは、直接支払、農村振興、養蜂へのセクター支払いに加え、果実・野菜部門にもセクター支払いが設定されている

オランダにおけるCAP施策			個別目標（SO）									
区分	CAP施策名	国内施策番号 ※加盟国ごとに異なる	1	2	3	4	5	6	7	8	9	X
			公正な所得	競争	リデュース フードバ ンチャー	気候変動	環境配慮	景観	世代交代	農村地域	食料と健康	知識と イノベーション
直接支払	基礎所得支持	I.21	●									
	補完的所得再分配支持	I.29	●									
	補完的青年農業者所得支持	I.30	●						●			
	エコスキーム	I.31	●			●	●	●			●	
	カップル所得支持		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
セクター 支払い	特定のセクターにおける介入の種類（フルーツ及び野菜）	I.47	●	●	●	●	●	●	●		●	●
	養蜂部門への介入の種類	I.55			●							
農村振興	環境・気候等管理誓約	I.70.1-I.70.2				●	●	●				
	自然等地域固有限制		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	義務的要件による地域固有の不利		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	投資、灌漑投資	I.73.1a～I.73.3	●	●		●	●	●	●		●	
	青年農業者・新規就農者・農村事業開業	I.75							●			
	リスク管理施策	I.76	●									
	協働	I.77.1～I.77.5				●	●	●	●	●	●	●
	知識交換・情報普及	I.78										●

 イタリアにおけるCAP戦略計画の個別目標

- イタリアでは、直接支払、農村振興、養蜂・ワインへのセクター支払いに加え、セクター支払の対象がオリーブ、果実・野菜、ジャガイモと設定されている

イタリアにおけるCAP施策			個別目標（SO）									
区分	CAP施策名	国内施策番号 ※加盟国ごとに異なる	1	2	3	4	5	6	7	8	9	X
			公正な所得	競争	フードバリューチェーン	気候変動	環境配慮	景観	世代交代	農村地域	食料と健康	知識とイノベーション
直接支払	基礎所得支持	PD01	●	●								
	補完的所得再分配支持	PD02	●						●	●		
	補完的青年農業者所得支持	PD03	●						●	●		
	エコスキーム	PD04～05	●			●	●	●			●	
	カップル所得支持	PD06～07	●	●	●						●	
セクター支払	果物と野菜	Dotazione complessiva ortofrutta	●	●	●	●	●	●		●	●	●
	養蜂	詳細割愛		●	●			●		●	●	●
	ワイン・ブドウ	詳細割愛										
	オリーブ	Dotazione finanziaria olio di oliva e olive da tavola	●	●	●	●	●	●			●	●
	じゃがいも	Dotazione finanziaria settore pataticolo	●	●	●	●	●	●		●	●	●
農村振興	環境・気候等管理誓約	SRA01～31				●	●	●			●	
	自然等地域固有限制	SRB01～03	●					●				
	義務的要件による地域固有の不利	SRC01～03	●			●	●	●				
	投資、灌漑投資	SRD01～19	●	●		●	●	●		●	●	●
	青年農業者・新規就農者・農村事業開業	SRE01～04								●	●	
	リスク管理施策	SRF01～04	●									
	協働	SRG01～10			●					●	●	●
	知識交換・情報普及	SRH01～06										●